青葉城は青空の下

宮城県

矢澤　裕子

宮城県 杜の都 仙台の矢澤さんたちは今日、餃子パーティーの準備で大忙し。
宮通研の大変な震災の時期を共に過ごし、十数年の間、
みんなと支え合った宮通研の「一本の柱」とも言える役割を果たしたメンバーの送別会である。
「食べ物何が好き？」「餃子かな」から始まり、みんなが各個人の得意料理を持ち寄った。
手作りケーキを作ったり、いろいろ工夫の飾り付けを考えたり、美味い食材を探し集めたり、
宮通研メンバーそれぞれが目一杯の愛と感謝の気持ちを餃子に包んだ。
別れの時、みんなが目に涙を浮かべ、新生活への旅立ちを祝った。

及川麻衣子さんの送別会

触手話を必要とする石黒さんから絶大な信頼を受ける矢澤さん。買い物の会話も弾む

宮城障害者職業能力開発校で訓練ごとの専門用語を通訳するのは勉強になりやり甲斐がある

キャラクターずん太郎の下、全国ろうあ者大会inみやぎ（2019）の話で盛り上がる

宮城県聴覚障害者協会事務所にて
副会長 菅原さん（左） 矢澤さん（中央）
会長 小泉さん（右）

Happy!

矢澤さんは羽生結弦さんの大、大ファンである。

羽生くんの伝説の「ニースの雄叫び」が震災を乗り越えて立ち上がろうとする人々への最高の再興へのメッセージとして激しく心に突き刺さった。

矢澤さんの熱い情熱は宮通研での「一本の柱」へと繋がると確信した。

明日、青葉城は青空の下で輝いている。

写真／文 松本 博